

ため池の決壊防止対策や迅速な避難を促すソフト対策の実施により被害の発生を防止(島根県出雲市)



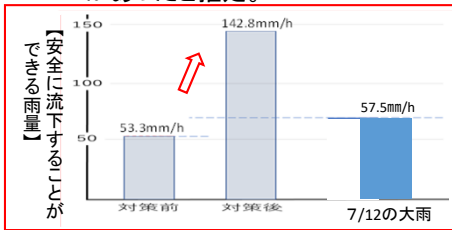
- 令和3年7月1日からの大雨においては、ため池の堤体に損傷はあったものの（7月21日時点で防災重点ため池は32か所が被災）、人的被害は発生しなかった。
- 島根県出雲市において、ハード対策とソフト対策を組み合わせたため池対策を実施。
- このように、ため池周辺の被害防止の観点から、更なる国土強靱化を推進。

ハード対策(ため池防災工事による決壊の防止)

○ 島根県出雲市の「奥原池」については、洪水吐きの流下能力の向上と堤体の嵩上げを実施。

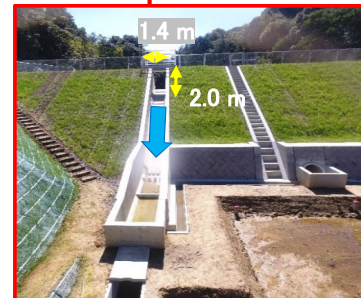
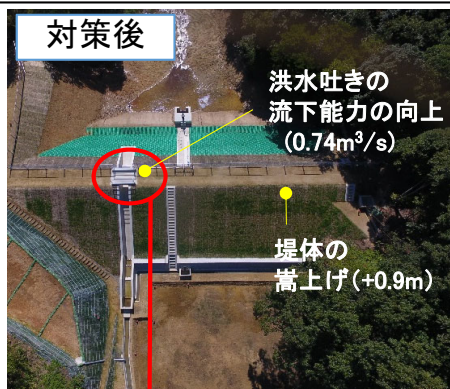
事業名	事業費	対策期間
農村地域防災減災事業	9,000万円	H29～R元
うち3か年緊急対策	2,500万円	R元

【対策前】7月12日の大雨に際し溢水のおそれがあったと推定。 【対策後】決壊等による被害を未然に防止し、**下流の農地や住宅への浸水を回避。**



降雨	想定被害額	影響を受ける住宅
対策前	1億2千万円*	6戸*
7月12日	被害なし	被害なし

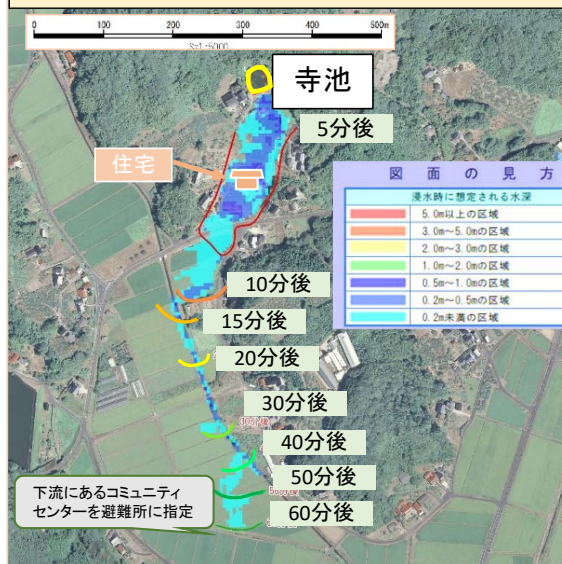
※ため池が決壊した場合



ソフト対策(ハザードマップ作成による迅速な避難行動)

- 島根県出雲市の「寺池」は、行政と住民が協働してハザードマップを作成。
- 7月5日から大雨(55.5mm/h)で、堤体に損傷が発生。島根県、出雲市の職員及び消防団が応急対応。**住民は自主避難。**
- 底樋からの排水に加え、出雲市及び中国四国農政局は、排水ポンプを設置し、追加的な排水を実施。二次被害を防止。

出雲市 寺池ハザードマップ



【令和元年】ハザードマップ完成・公表

主な事業	事業費	対策期間
ため池の保全・避難対策(ハザードマップ作成)	100万円	R元

【令和3年7月7日】  
・ため池管理者が消防団に通報(堤体損傷を発見)

・底樋を開け島根県・出雲市の職員及び消防団で応急対応  
(底樋を開け水位低下ブルーシート養生)

・住民は自主避難

【7月8日】  
・排水ポンプによる排水により、二次被害を防止

